



電話システムのモニタリング

- [電話システムの監視の概要 \(1 ページ\)](#)
- [Cisco IP 電話のステータス \(1 ページ\)](#)
- [再起動の理由 \(5 ページ\)](#)

電話システムの監視の概要

電話機および電話機 Web ページの電話機ステータス メニューを使用すると、電話機に関するさまざまな情報を表示できます。この情報には、次のものが含まれます。

- 機器情報
- ネットワークのセットアップ情報
- ネットワーク統計
- デバイス ログ
- ストリームの統計

この章では、電話機の Web ページから取得可能な情報について説明します。この情報は、電話機の操作のリモート モニタやトラブルシューティングに役立てることができます。

Cisco IP 電話のステータス

ここでは、Cisco IP 電話のモデル情報、ステータス メッセージ、およびネットワーク統計を表示する方法について説明します。


- [モデル情報 (Model Information)] : 電話機のハードウェアとソフトウェアに関する情報を表示します。
- [ステータス (Status)] メニュー : ステータス メッセージ、ネットワーク統計、および現在のコールに関する統計を表示する画面にアクセスできます。

これらの画面に表示される情報は、電話機の操作のモニタやトラブルシューティングに役立てることができます。

また、これらの情報の大半およびその他の関連情報は、電話機の Web ページからリモートで取得することもできます。

[電話の情報 (Phone Information)]ウィンドウの表示

手順

ステップ 1 [アプリケーション (Applications)]  を押します。

ステップ 2 [電話の情報]を選択します

ユーザパスワードが設定されると、対応するアイコン (ロックまたは証明書) が電話画面の右上隅に表示されます。

ステップ 3 [モデル情報 (Model Information)]画面を終了するには、[終了 (Exit)]を押します。

電話情報の表示


手順

Cisco IP 電話の現在の状態を確認するには、[情報 (Info)]タブをクリックします。

[情報 (Info)]タブには、電話機統計や登録状況など、すべての電話機の内線番号に関する情報が表示されます。

電話機のステータスを表示する

手順

ステップ 1 アプリケーション  を押します。

ステップ 2 [ステータス (Status)] > [電話のステータス (Phone Status)] > [電話のステータス (Phone Status)]を選択します。

以下の情報を確認できます。

- [経過時間 (Elapsed time)]: システムを前回再起動してから経過した時間の合計。
- [Tx (パケット) (Tx (Packets))]: 電話機から送信されたパケット。

- **[Rx (パケット) (Rx (Packets))]** : 電話機で受信されたパケット。

ダウンロードステータスの表示

ユーザが電話機をうまく登録できないときに、電話機の Web ページからダウンロード状態を表示できます。

始める前に

電話管理の Web ページにアクセスします。 [電話機 ウェブインターフェイスへのアクセス](#)を参照してください。

手順

-
- ステップ 1** **[情報 (Info)] > [ダウンロードのステータス (Download Status)]** を選択します。
 - ステップ 2** **ファームウェアアップグレードステータス、プロビジョニングステータス、カスタムCAステータス、および画面ステータス**の説明に従って、**ファームウェアアップグレード、プロビジョニング、およびカスタムCAステータス**の詳細を表示します。
 - ステップ 3** **[MIC 証明書更新ステータス]** セクションで、**製造インストール済み証明書 (MIC) の更新ステータス**の詳細を表示します。

電話機の IP アドレスの決定

DHCP サーバにより IP アドレスが割り当てられるため、電話機をブートアップして、サブネットワークに接続する必要があります。

始める前に

電話管理の Web ページにアクセスします。 [電話機 ウェブインターフェイスへのアクセス](#)を参照してください。

手順

-
- ステップ 1** **[情報 (Info)] > [ステータス (Status)]** を選択します。
 - ステップ 2** **[IPv4情報 (IPv4 Information)]** までスクロールします。 **[現在のIP (Current IP)]** に IP アドレスが表示されます。
 - ステップ 3** **[IPv6情報 (IPv6 Information)]** までスクロールします。 **[現在のIP (Current IP)]** に IP アドレスが表示されます。
-

音声品質のモニタリング

ネットワーク内で送受信されるコールの音声品質を測定するために、Cisco IP 電話では隠蔽イベントに基づく次の統計メトリックを使用します。DSP は、音声パケットストリーム内でフレーム損失の部分をマスクするために、隠蔽フレームを再生します。

- フレーム損失率のメトリック：音声フレームの総数に対する秘匿フレームの比率を示します。直近フレーム損失率は、3 秒ごとに計算されます。
- フレーム損失発生秒数のメトリック：損失フレームが原因で DSP が秘匿フレームを処理する場合の処理秒数を示します。深刻な「フレーム損失発生秒数」は、DSP が 5 % を超える隠蔽フレームを処理する場合の秒数です。





(注) フレーム損失率とフレーム損失発生秒数は、フレーム損失に基づいた主要な測定値です。フレーム損失率がゼロの場合は、IP ネットワークが損失なく時間どおりにフレームやパケットを配信していることを示しています。

Cisco IP 電話から音声品質メトリックにアクセスするには、[コール統計 (Call Statistics)] 画面を使用するか、または、リモートで [ストリーミング統計 (Streaming Statistics)] 画面を使用します。

[コール統計 (Call Statistics)] 画面の表示

最近の通話の詳細情報を表示するには、電話機の [コール統計 (Call statistics)] メニューにアクセスできます。たとえば、コールタイプ、発信者名、発信者番号などです。

手順

- ステップ 1 [アプリケーション (Applications)]  を押します。
- ステップ 2 [管理者設定 (Admin settings)] > [ステータス (Status)] > [コール統計 (Call statistics)] を選択します。
- ステップ 3 [ステータス (Status)] メニューを終了するには、[戻る (Back)]  を押します。

コール統計のフィールド

次の表に、[コール統計 (Call Statistics)] 画面の項目を示します。

表 1: Cisco IP 電話の [コール統計 (Call Statistics)] の項目

項目	説明
通話タイプ	発信コールまたは着信コール。

項目	説明
ピア名	コールを行った人またはコールに応答した人の名前。
ピア電話	コールを行った人またはコールに応答した人の電話番号。
エンコードコーデック	発信オーディオを圧縮するための手段。
デコードコーデック	着信オーディオを圧縮解除するための手段。
コール時刻	コールが行われた時刻またはコールに応答した時刻。
コール ID	発信者の ID。

再起動の理由

電話機には、電話機が更新または再起動された5つの最新の理由が保存されます。電話機が工場出荷時の初期状態にリセットされると、この情報は削除されます。

次の表で、Cisco IP 電話の再起動と更新の理由を説明します。

理由 (Reason)	説明
アップグレード	再起動はアップグレード操作（アップグレードが完了したか失敗したかに関係なく）の結果です。
プロビジョニング	再起動は、IP フォンの画面または電話機の Web ユーザ インターフェイスを使ってパラメータ値が変更された結果、または同期の結果です。
SIP によるトリガー	再起動は、SIP 要求によってトリガーされました。
RC	再起動は、リモート カスタマイズの結果トリガーされました。
ユーザによるトリガー	ユーザがコールド リブートを手動でトリガーしました。
IP の変更	電話機の IP アドレスが変更された後、再起動がトリガーされました。

次の方法で再起動履歴を表示できます。

- 電話機の Web ユーザ インターフェイスから
- IP フォンの画面から
- 電話機のステータス ダンプ ファイルから (<http://phoneIP/status.xml> or <http://phoneIP/admin/status.xml>)

電話機 Web ユーザ インターフェイスの再起動履歴

情報 > システムステータス ページ、再起動歴史デバイス再起動履歴、5つの最も最近再起動日付と時刻、および再起動の理由にセクションが表示されます。各フィールドには、再起動の理由と、再起動が実行されたことを示すタイムスタンプが表示されます。

次に例を示します。

```
Reboot Reason 1: [08/13/14 06:12:38] User Triggered
Reboot Reason 2: [08/10/14 10:30:10] Provisioning
Reboot Reason 3: [08/10/14 10:28:20] Upgrade
```

再起動歴史を逆の順に表示します。最も最近の再起動の理由で表示されます **再起動理由 1**。

Cisco IP 電話画面の再起動履歴

再起動履歴は [アプリケーション (Apps)] > [管理者設定 (Admin Settings)] > [ステータス (Status)] メニューの下にあります。[再起動履歴 (Reboot History)] ウィンドウで、再起動エントリは、電話機の Web ユーザ インターフェイスに表示されるシーケンスと同様に、時間的な流れとは逆の順序で表示されます。

ステータス ダンプ ファイルの再起動履歴

リポート履歴は、ステータスダンプファイル (http://<phone_IP_address>/admin/status.xml) に保存されます。

このファイルでは、次の例に示すように、タグ **Reboot_Reason_1** ~ **Reboot_Reason_3** にリポート履歴が保存されます。

```
<Reboot_History>
<Reboot_Reason_1>[08/10/14 14:03:43]Provisioning</Reboot_Reason_1>
<Reboot_Reason_2>[08/10/14 13:58:15]Provisioning</Reboot_Reason_2>
<Reboot_Reason_3>[08/10/14 12:08:58]Provisioning</Reboot_Reason_3>
<Reboot_Reason_4>
<Reboot_Reason_5>
</Reboot_History/>
```

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。